

福祉施設の希望する寄附の状況

平成27年度 東京善意銀行 物品・寄附等希望アンケート 集約結果

東京善意銀行の取り組み

- ▶ 東京善意銀行は、昭和39年(財団法人 東京善意協会として設立)から都民・企業・団体の皆さまからの「福祉の役にたちたい」とのお気持ちを、東京都内の福祉施設とその利用者に届ける橋渡しの役を務めています。昭和45年に財団法人 東京善意銀行と改称、平成17年に社会福祉法人 東京都社会福祉協議会(東社協)に事業を移管し、事業を継続しています。
- ▶ 都民・企業・団体の皆さまからいただいた寄附(現金・物品・招待)を、適正・公平に、また、福祉施設の希望にできるだけ沿えるよう、東京善意銀行では、毎年、福祉施設の希望する寄附等の現況把握と、必要としている物品等の把握のためのアンケートを行っています。また、寄附配分(助成)を、より効果的できめ細かく対応できるよう福祉施設へのヒアリング調査も実施しています。

27年度の配分(助成)対象施設の状況

- ▶ 配分(助成)対象の福祉施設は、全体で約2,300施設です。その施設種別内訳は、障害関連施設が59%、高齢関連施設23%、児童関連施設10%です。
- ▶ 善意銀行への現金による寄附は、福祉施設での必要な物品の購入費用として、善意銀行から助成金として配分していますが、全体の66%がこの助成を希望しています。

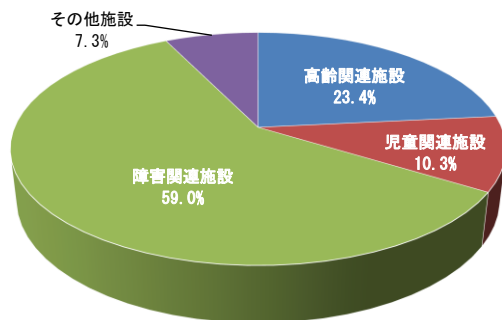
福祉施設の希望品は施設種別に関わらず、パソコンやテレビ等の家電製品の希望が多くあります。施設種別ごとの希望品の主な内容は下表のとおりです。

高齢関連施設	車いす(チルト・リクライニング式)、電動ベッド、エアーマット等の介護用具やソファ、テレビの希望が多い
障害関連施設	パソコン、タブレット端末等の希望が多い。その他、プロジェクター、授産活動の品、デジカメ等
児童関連施設	自転車、遊具、白物家電の希望が多い。通所施設は楽器や知育玩具、乳児施設はベビーカー、その他テーブル等の家具を希望
その他の施設	家電製品等の希望が多い

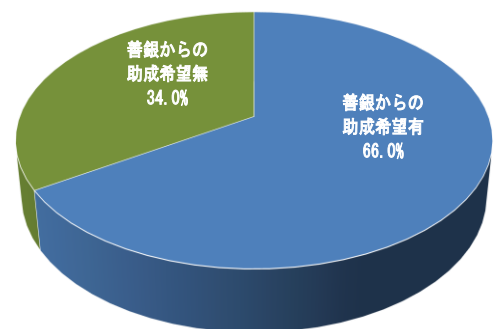
- ▶ 助成金の配分は、このアンケートの回答内容に基づき助成申請を募り、善意銀行の運営委員会で審査の上、助成決定を行っています(年3回程度)。

平成27年度は、のべ322か所の福祉施設・団体に物品購入の助成金等として配分しました。

配分(助成)対象施設の内訳(平成27年度)



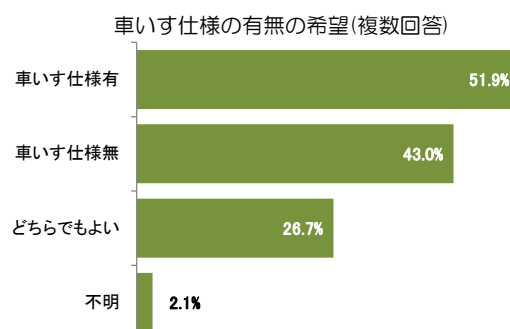
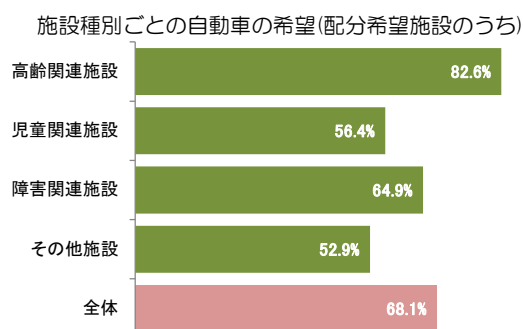
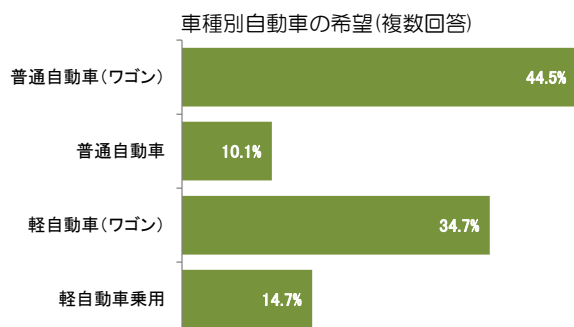
配分(助成)対象施設の内訳(平成27年度)



物品・招待寄附の希望の状況

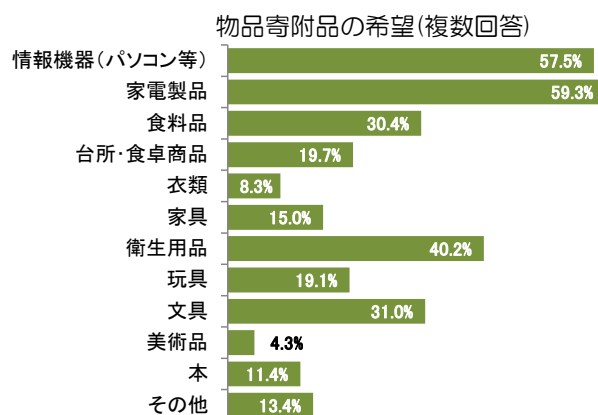
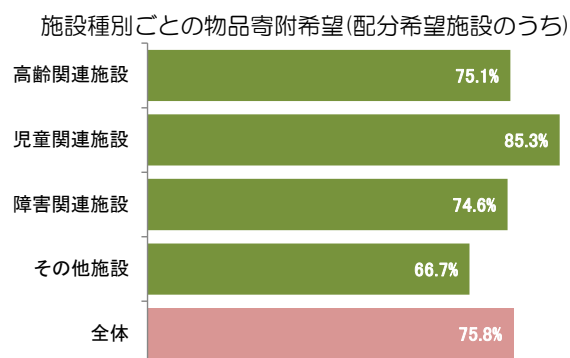
1 自動車の希望状況

- ▶ 寄附配分を希望する福祉施設（回答施設）の約7割が自動車を希望しています。福祉施設の規模や事業内容によりますが、高齢者施設では8割以上の施設で希望があります。
- ▶ 自動車を希望する福祉施設は、全体では普通自動車、軽自動車ともほぼ同割合ですが、いずれもワゴンタイプの車種の希望が多くなっています。
- ▶ 車いす仕様の希望の有無では、ワゴンタイプの車種を希望する場合に車いす仕様有の割合が高くなっています。

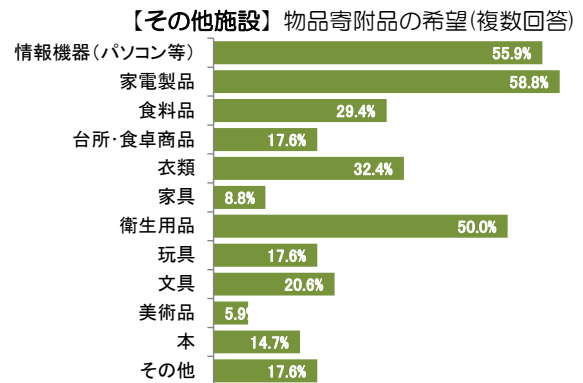
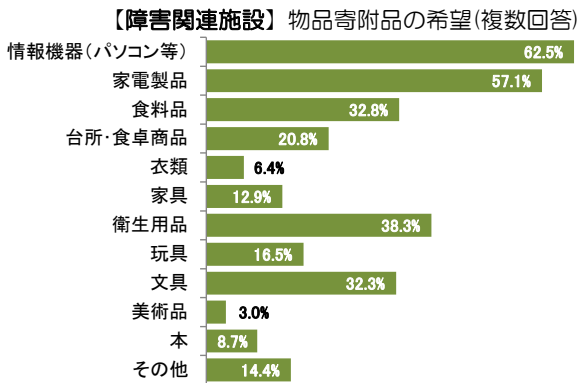
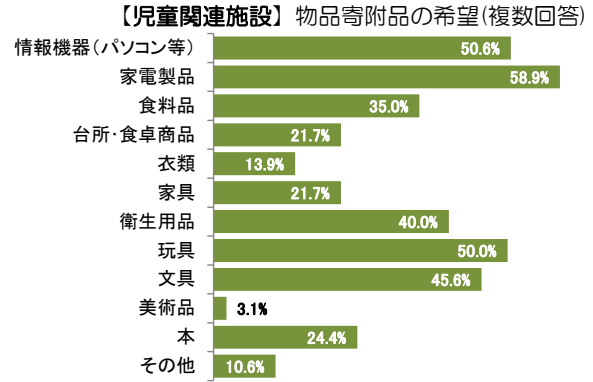
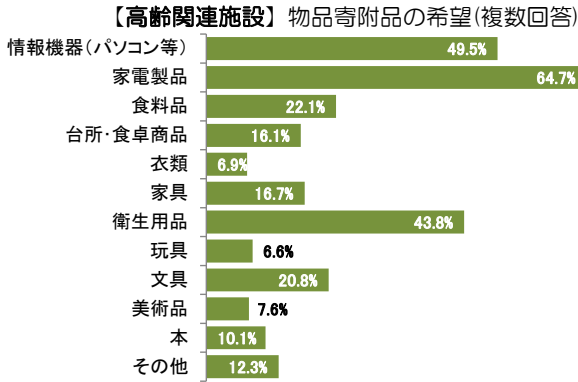


2 物品寄附の希望状況

- ▶ 物品寄附を希望する福祉施設は、全体の3/4を超える施設で希望があります。
- ▶ 物品の品目別では、全体では家電製品、情報機器（パソコン等）、衛生用品、文具、食料品の順で希望が多くなっています。
- ▶ 高齢関連施設では、希望物品の上位は、家電製品、情報機器（パソコン等）、衛生用品で、その他、車いすや介護用品の希望があります。
- ▶ 児童関連施設では、希望物品の上位は、家電製品、情報機器（パソコン等）、玩具です。その他遊具や文具、衛生用品等の希望が多くなっています
- ▶ 障害関連施設では、タブレット端末も含めて情報機器（パソコン等）が最も多く、家電製品、衛生用品の希望が上位品です。



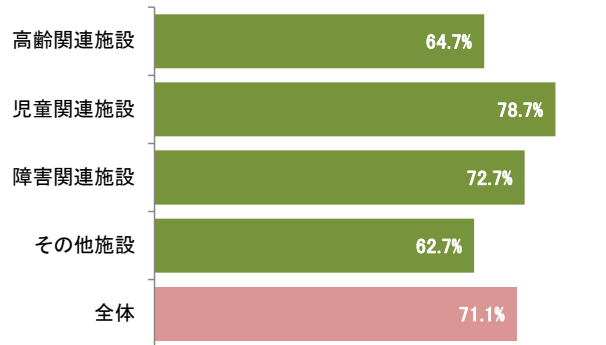
<施設種別ごとの物品寄附品の希望(複数回答)>



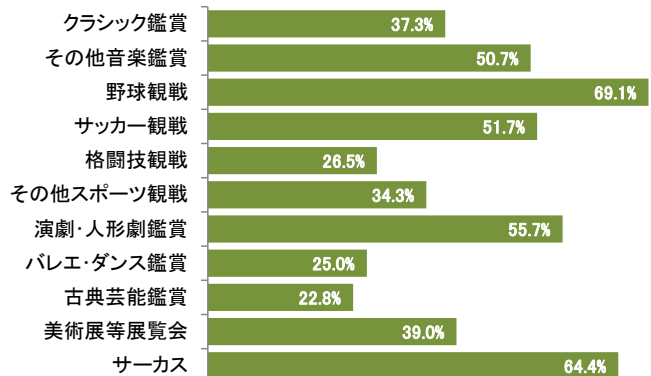
3 招待寄附の希望状況

- ▶ 招待の寄附(配分)希望は、施設種別では障害関連施設、児童関連施設からの希望が多くなっています。利用者の状況や、付添等の職員体制等によって、また、施設種別によって希望の多寡があります。
- ▶ 希望分野ごとでは、全体では、野球・サッカー等のスポーツ観戦、サーカスが多く、演劇鑑賞や音楽鑑賞の希望が続きます。その他、参加にあたって、車いす等の対応を希望する施設、職員の付添等の関係で曜日の希望も寄せられています。
- ▶ 東京善意銀行では、招待寄附をいただく招待数や、寄附いただく企業等の意向、イベント・催物等によって、希望する施設種別に公平にお渡しできるよう、丁寧な調整に心掛けています。

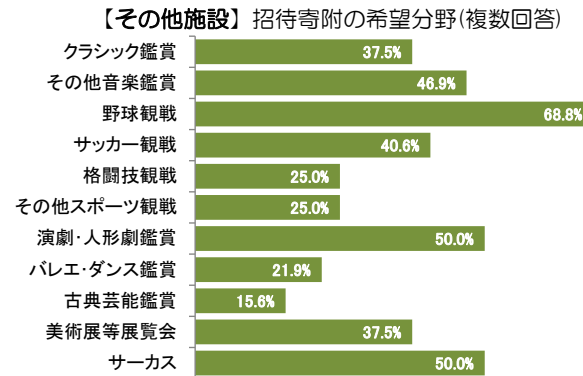
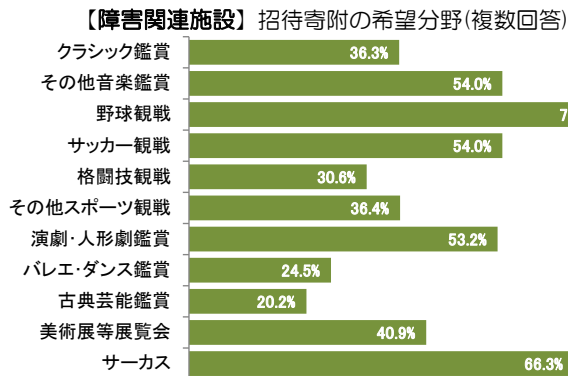
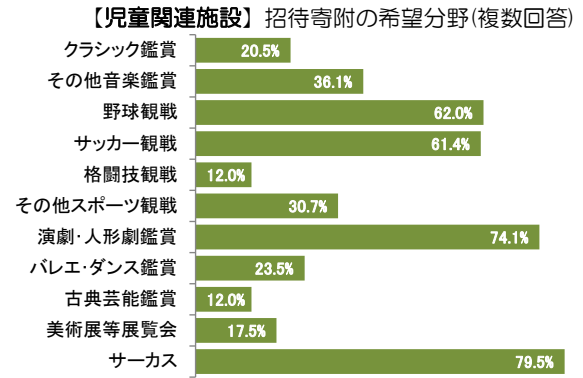
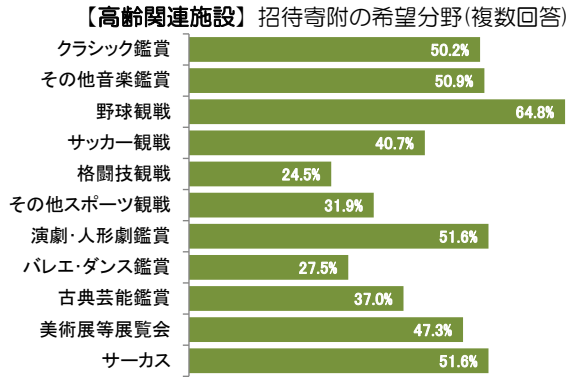
施設種別ごとの招待寄附希望(配分希望施設のうち)



招待寄附の希望分野(複数回答)



<施設種別ごとの招待寄附の希望(複数回答)>

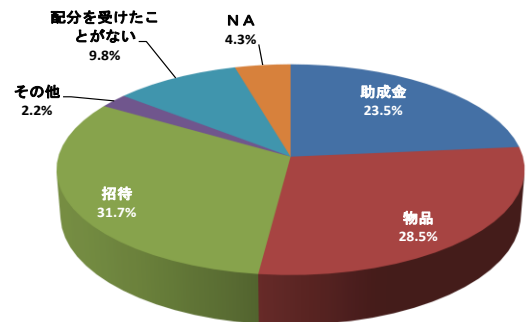


福祉施設における東京善意銀行の利用状況

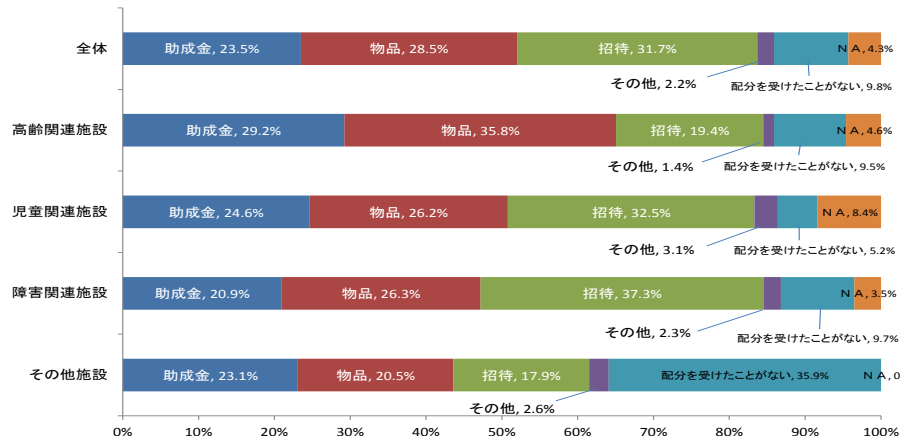
8割の福祉施設が東京善意銀行の利用について満足

- ▶平成 27 年度の寄附等希望アンケートにあわせて、各施設における東京善意銀行の利用状況について確認しました。
- ▶約 8 割の福祉施設が「現金」「物品」「招待」のいずれかの配分を受けています。全体では「招待」「物品」「現金」の順に多くなっています。一方で「配分を受けたことがない」と回答した施設が約 1 割ありました。
- ▶施設の種別に関しては、高齢関連施設では「物品」に対する満足が比較的多く、児童関連施設、障害関連施設では「招待」に対する満足が多くなっています。

【全体】東京善意銀行のどの配分が最も満足されましたか(配分の有無を含む)



【種別ごと】東京善意銀行のどの配分が最も満足されましたか(配分の有無を含む)



東京善意銀行の配分の活用方法について

- ▶東京善意銀行の配分をどのように活用されているか具体的に尋ねました。

回答内容として多かったものは、高齢関連施設では「利用者の身体や介護の状況にあった物品を購入」「地域交流や施設行事等で活用」など、児童関連施設では「招待寄付を通して子どもの社会体験の機会や情操教育に活用」同じく「地域交流や施設行事等で活用」など、障害関連施設では「本来の事業である授産活動のための物品の購入」「地域交流や施設行事等で活用」、また「防災用品の購入や寄贈の活用」も多くありました。

- ▶各種別での特徴的な回答の主なものは以下の通りです。

〈高齢関連施設〉

〈助成金〉▶利用者に合わせて調整できるタイプの車いすを購入しとても役に立っています。▶助成金で車椅子（リクライニングタイプ）を購入しました。重度の利用者も、リクライニングを使うことで安楽に座位が保て、離床する機会が増えました。▶動きが激しくベッドからの転落が心配される利用者にも畳ベッドを購入しました。利用者の快適で安全な環境づくりに活用させて頂いております。▶利用者の状況に合ったポジショニングクッションを購入しました。利用者の座位姿勢保持、褥瘡予防に役立っています。

〈物品寄附〉▶その都度その用途に応じて活用しています。食品なら給食のメニューに取り入れたり、おやつとして提供したり、物品なら各フロアで利用者の皆さんのために使用しています。▶感染予防セット一式は、感染症が発生した際の備えとして大変心強く感謝しています。▶地域の道幅等に合った軽自動車を寄贈して頂いたことで、自立度の高い利用者の通院や相談員の訪問面接時に非常に役立っています。今後は重度な利用者でも通院できるような普通車のワゴンがあると大変助かります。▶お菓子をいただき、地域の子どもたちとの交流や、利用者のおやつ等に使用しました。皆とても喜んでおりました。

〈招待寄附〉▶職員に希望を確認し、配分を受けた場合は、利用者の楽しみや職員の福利厚生に活用させて頂いています。▶招待された利用者は、音楽鑑賞等を通して余暇活動の充実だけでなく、利用者同士の交流にもつながっています。▶美術展の招待は特に申込が多く、なかなか外出されない方でも招待をきっかけに外出されることが多いです。高齢者はひきこもりがちになられるので、よい刺激になっています。

〈児童関連施設〉

〈助成金〉▶以前に洗濯機やテレビなどを頂きました。入所される方で家電製品がない方に貸出し、大変喜ばれています。▶箱庭を購入し、カウンセリングの際に使用しています。▶本購入のための助成金は嬉しかったです。子どもたちが自由に本を選ぶことができたので、大喜びしていました。▶利用児の運動発達の促進に役立つ物品（トランポリン等）を購入しています。▶年度末に予算化しなかったものの、余裕があれば購入したいと考えていた物を購入させて頂いています。

〈物品寄附〉▶配分を受けた図書や貸し出しや観劇の招待等で子どもの情操教育に役立っています。配分を受けた菓子等を保護者懇談会で使い、保護者交流を行っています。▶特に新入居者への配分が出来ると助かっています。地域の母子家庭で希望する世帯には配分しています。

〈招待寄附〉▶観劇や招待等で子どもの情操教育や親子の思い出づくりに役立っています。▶招待行事を活用することで、子どもの生活が豊かになり、いろいろな経験につながっています。また、これらの活用により、宿泊行事等に予算をかけることができます。▶子どもの希望にのっとった招待をお願いし、才能のばせる機会としたいです。▶スポーツ観戦等に参加することで社会ルール・マナーを学ぶ場にもなっています。▶観劇、スポーツ観戦等、園外への外出行事は公共交通機関の利用、外食の機会の増加等、児童の社会教育にも効果的なものだと思っています。▶なかなか家族では行かない観劇のご招待等で、子どもの情操教育

また社会への適応力の育成を図っています。

〈障害関連施設〉

≪助成金≫数年前に音声伝達装置（アイトーク）を購入し、利用者のコミュニケーション支援に大変役立っています。意思を伝えることを抑えていた方が他人に伝達しようとする事が多くなり、気持ちの面でも豊かになりつつあります。今後も利用者の意思表示、意思決定の支援に活用させていただきます。

▶利用者の高齢、重度化にあわせ、介護用ベッドを購入しました。▶自主製品の材料の冷蔵、冷凍保管用に冷蔵冷凍庫を購入し、季節の果物や野菜を材料としたジャムの製造に活用させていただいています。▶利用者が目指す一般就労に向けて必要とされる知識や技術の向上を目的としたプログラムの充実に活かされています（ノートパソコン等）。▶東日本大震災もあり、防災グッズを充実させるため大変お世話になりました。避難訓練でもいただいたヘルメットの着用練習などして活用しています。

≪物品寄附≫生産活動に必要な道具をいただき活用しています。▶利用者の工賃アップのため、人の手によって作業の準備をしていたところを効率よく、職員の負担も軽減できるように考え活用しています、機械化等。▶施設行事で配分を受けた物品（菓子類）を来場者に配布し、地域交流に役立っています。観劇の招待等で利用者様のQOL向上に役立っています。▶利用者にとって就労へ向けた活動につながったり、自立生活へつながったりするように役立っています。▶災害時用食料の提供を受けています。施設利用者、周辺地域を考慮して、大変貴重なものをいただきました。

≪招待寄附≫様々な招待等で利用者の外出に対する意欲を上げることに役立っています。▶野球、格闘技、音楽鑑賞の招待を通して、利用者の余暇活動の充実や、趣味・興味の拡大、日々のゆとりや潤いにつながっています。▶普段見ることのできない野球、サーカス等の観戦や鑑賞を通じて、利用者相互の理解や交流に役立ちます。▶展覧会等のご招待により知的障害者の方の世界が広がっています。またご家族やヘルパーとでかけることで貴重な社会体験となっています。▶初めての事や、社会体験プログラムに有効に活用させていただいています。実際に大きな効果となり、就労活動に結果をだしています。▶スポーツ観戦、演劇鑑賞、美術館鑑賞等の招待を受け、外出する機会が少なく、経済的に余裕がない障害のある利用者の数少ない楽しみとなっています。

〈事業実績〉

平成27年度実績	寄 附 受 入		配分か所数	備 考
現金寄附	1,168 件	41,407 千円	322 施設	※物品購入の助成金等として配分
物品寄附	192 件	11 万 0 千点	1,316 施設	
招待寄附	175 件	2 万 1 千人	4,522 施設	


 東京善意銀行のウェブサイトには、様々な資料を掲載しています。ぜひご覧ください。

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会（福祉振興部）

東京善意銀行

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京YWCA会館 3 階
 Tel 03-5283-6890 Fax 03-5283-6997 E-mail zen-i@tcs.w.tvac.or.jp
<http://www.tcs.w.tvac.or.jp/zengin>

